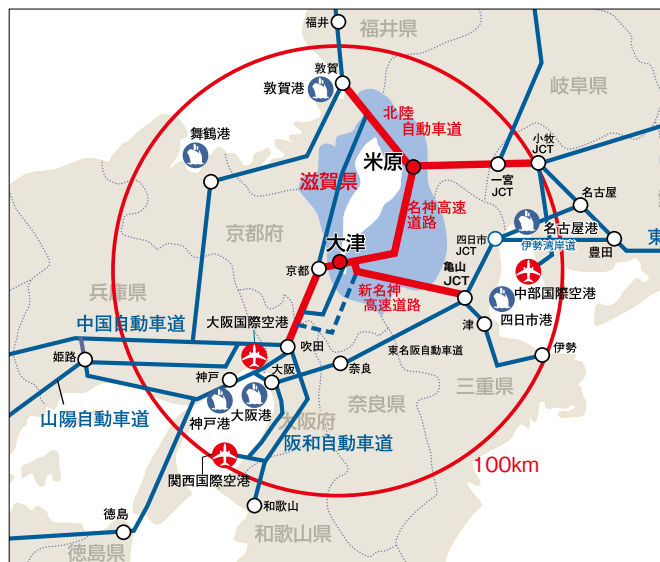


# 立地環境の魅力で更なる企業誘致を 滋賀県

## 多彩な魅力を持つ職住環境

滋賀県は、交通の要衝として機能し、一般機械や電気機械、電子部品・デバイス、化学工業などのモノづくり企業が数多く立地する全国屈指の内陸工業県だ。県内の工場は、敷地10ha以上または1,000人以上の大規模工場が多く、世界的なシェアを持つ大企業のマザー工場が多いことも特長だ。気象庁や国土交通省のデータによると、地震や水害などの自然災害が少ない地域で、2005年～2014年の過去10年間の平均年間水害被害額は、全国平均を大きく下回る。

また、県域の1/6を占める琵琶湖の水環境を守る先進的な取り組みによって、環境県として全国に知られている。このように交通利便性が高く、琵琶湖を中心とした自然豊かな住み心地の良さも魅力で、2017年の「住みよさランキング」（東洋経済新報社）ではベスト100位に県内13市のうち5市がランクインしている。近年は、教育適地として大学も数多く進出し、現在11大学2短期大学があり、多くの人材を生み出す場となっている。



### ■滋賀県のデータ

面積：4,017km<sup>2</sup>  
 人口：1,412,735人（2018年1月1日現在・推計人口）  
 県庁所在地：〒520-8577 大津市京町四丁目1番1号  
 TEL：077-528-3993（総合案内）  
 ホームページURL：<http://www.pref.shiga.lg.jp/>

## 水、緑に恵まれた産業用地と製造業を支援する助成制度

県は2015年に本社、研究開発機能、マザー工場への設備投資を対象とした「『Made in SHIGA』企業立地助成金制度」を創設。新規立地の他、県内拠点に本社機能や研

究開発機能を集約する際、1億円（大型投資の場合は10億円）を上限に、投下固定資産額の5%以内の助成を行うというもの。詳細は県企業誘致推進室にお問い合わせいただきたい。

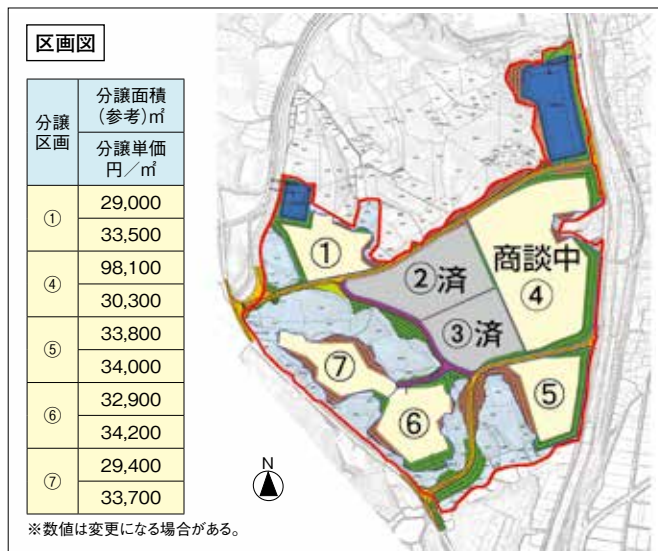
### 滋賀県の主な産業用地（販売可能用地および計画中の地域）

地域	産業用地番号	所在地	面積	備考
湖西地区	12	高島市マキノ町西浜地先	9ha	農地
湖南地区	1	守山市木浜	8.7ha	
湖南地区	2	守山市横江町地先	6.4ha	農地
湖南地区	3	湖南市石部口	5.2ha	
湖南地区	4	甲賀市甲賀町鳥居野	15.5ha	分譲可能面積 約 8.9ha
湖北地区	11	米原市米原、梅が原地先	0.08~0.2ha	産業用地(2カ所)
東近江地区	5	竜王町岡屋	22.4ha	5区画
東近江地区	6	蒲生中部工業団地	5.5ha	1区画
東近江地区	7	鳥居平工業用地	7.8ha	2区画
湖東地区	8	愛荘町愛知川地先	1.6~6.6ha	他産業用地(4カ所)
湖東地区	9	甲良町池寺地先	12.6ha	
湖東地区	10	多賀町敏満寺地先	1.2ha	1区画

## 高速道の利用に適した大規模工業団地 —「滋賀竜王工業団地」—

「滋賀竜王工業団地」は、県東部の竜王町にある。名神高速道路竜王ICから1.5kmと至近で高速道の利用に便利な立地。また国道1号、8号にも近く、良好なアクセス環境を誇る。近畿・中部・北陸の結節点にあり、大阪経

済圏からも名古屋経済圏からも概ね100km。周辺には大手自動車メーカーや樹脂メーカーなど多くの工場が操業している。総区画7区画、総分譲面積は約30ha。現在、県内の大規模な新規工業団地は同団地のみ。



## 県南部で計画が進む新工業団地 —「(仮称)甲賀北地区工業団地」—

「(仮称)甲賀北地区工業団地」は、県南部の甲賀市に計画されている。同市は大阪、名古屋から100km圏内にあり、新名神高速道路の草津JCT～亀山JCT間開通後は吹田ICへ約60分、豊田ICへは約80分と所要時間が大幅に短縮された。同団地は既設の「甲賀工業団地」隣接地で計画され、新名神高速道路甲賀土山ICから5km、約10分と近く利便性も高い。規模は約16ha、工業専用地域で、分譲面積は約8.9ha、想定画地数は4画地（分割可能）。2020年度完成を目標としている。



## 用地エリアの拡張を計画 —「古高工業団地」—

「古高工業団地」は、守山市の南部に位置している。名神高速道路栗東IC、国道8号に近く、2015年度に開通した湖南幹線も至近で交通利便性が高い。同団地には既に50社を超える企業が立地。周辺環境との調和のため緑地や公園を配置している水と緑豊かな工業団地だ。

現在、隣接する横江地区に同団地の拡張（約6.4ha）を計画中。

